

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年11月4日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【通用門建屋建設工事における火災警報発生について】 発電所構外で建設中の通用門建屋で火災警報が発生したことを協力企業作業員が確認。 また、この火災警報に連動し、協力企業棟エリアの屋外消火栓箱内のベルが鳴動した。 当社社員が現場を確認し火の気および発煙が無いことを確認。 消防により非火災と判断された。 原因は、通用門建屋のコンクリート壁の穴あけ作業によって発生した粉塵により感知器が作動したものと推定。 協力企業棟エリアの屋外消火栓箱内のベルが鳴動した理由は、避難誘導のために周辺エリアも屋外消火栓箱を鳴動させるシステムが設けられており作動したものの。 今後、再発防止策を検討予定。</p>	G II	10月29日
2	<p>【5号機ディーゼル駆動消火ポンプの軸封部温度上昇について】 5号機ディーゼル駆動消火ポンプの吐出圧力計の点検後の確認運転を終え、停止した際、ポンプの軸封部の温度が停止直後に上昇し、一時的に運転中の温度より高くなったことを当直員が確認。 ポンプの外観に異常はなし。 消火系には、当該ポンプの他に電動機駆動消火ポンプが待機状態にあることから、系統機能に影響なし。 今後、原因を調査し、対応を検討予定。</p>	G III	10月29日